

# 大阪・鳥取県人会報

発行：大阪鳥取県人会  
発行責任者：安田 壽昭  
編集責任者：窪田 邦倫  
印刷：(株)新風書房

〈題字〉故高野泰明前名誉会長 第112号 令和7年10月15日

◆事務局連絡先 「行政書士法人いろは」行政書士 西谷友香里  
TEL 070-1846-1010 E-mail:osakatottorikenjinkai@gmail.com

## 鳥取県ファンの集いin関西 開催



### 再会喜び笑顔広がる

令和7年度の「鳥取県ファンの集いin関西」が8月30日(土)、会場をこれまでのホテルから新大阪の「ニューオーサカホテル」に移して開催されました。昨年の集いは台風の影響で急遽、中止となつたため、会場には2年ぶりの再会を喜ぶ人たちの笑顔が広がりました。

この日の参加者は、関西在住の人たち約180人。正午に開西鳥取県人会（大阪・神戸・尼崎・姫路・奈良の各鳥取県人会と京都鳥取県友会で構成）の安田壽昭会長（大阪鳥取県人会長）が、県立美術館の開館、大相撲「伯桜鵬」の活躍

など、鳥取に関する“嬉しい出来事”を紹介しながら「鳥取愛を感じて楽しんで下さい」と呼びかけて開会しました。来賓の平井伸治・鳥取県知事からは、大阪・関西万博で人気の「鳥取県ゾーン」の盛況ぶりが紹介され、国内はもとより、世界の人たちにも鳥取の魅力が伝わっていることで会場は大いに盛り上りました。

懇親会には鳥取県産の食材を使った料理や飲み物が並び、参加者は地元から駆けつけた県議や市町村長らを交えて故郷談義。フィナーレは地域ごとに集まつての「記念写真」、全員で唱歌「ふるさと」の合唱と進み、午後2時に来年の再会を期して閉会しました。



### 未来の鳥取を創造する

鳥取県副知事

中原 美由紀

皆さま、お変わりなくお過ごしでしょうか。4年前まで鳥取県関西本部でお世話になった中原です。会報への寄稿の機会をいただき、改めて当時のことを懐かしく思い出しています。

関西本部での勤務は、長い公務員生活の中でも特に忘れられない大切な思い出です。初めての関西生活・勤務で右も左もわからない私を温かく迎え入れてくださったのが、鳥取県人会の皆様でした。様々な行事や皆様との交流を通して、大阪にいながら鳥取との絆を強く感じることができたことに、心から感謝しています。

副知事として県政に携わる今、改めて感じているのは、

大阪をはじめとした関西が鳥取県にとって、どれほど重要な存在かということです。農林水産市場、企業誘致、観光などの人流、進学等どの分野においても本県にとってメインステージは関西です。そして関西で活躍されている皆様お一人おひとりが、鳥取県の魅力を広めるアンバサダーです。離れていても故郷を想い、支えてくださる皆様の存在をいつも頼りにしています。

この会報がお手元に届くのはちょうど大阪・関西万博が閉幕した頃ですね。鳥取県も関西広域連合の一員として万博にブース出展し、国内外の多くの方々（おそらく県人口を超える入場者数になっているはず…）に鳥取の魅力に触れただくことができました。閉幕を迎えた今、私たちは万博で得た繋がりや知見を、未来の鳥取を創造するための大きな力と捉えています。万博が終わったここからが本当のスタートです。どうか皆さま、本県のさらなる発展に向か、引き続き鳥取県のアンバサダーとして力強い応援をよろしくお願ひします。

### みふさと情報

◆バスケ男子 鳥取城北高校が初優勝 バスケットボール男子全国高校選手権「ウインターカップ」（昨年12月）準優勝の鳥取城北は、8月1日開催の全国高校総体決勝で、東京・八王子学園八王子を64対58で破り、鳥取県勢で初優勝を飾りました。

# 多士済々

～活躍する鳥取県人～

関西で活躍する鳥取県ゆかりの方を紹介します。初回は、大阪・関西万博「鳥取県ゾーン」のアテンダント・木本まみさん（鳥取市出身）に聞きました。

## ◆どうして「アテンダント」に？ 大切にしたことは？

生まれ育った大好きな鳥取県が万博に出展することを知り、「故郷の魅力を世界に伝えたい」と思ったのが、きっかけです。心掛けたことは、「誰にも伝わる工夫をすること」。お客様は老若男女と幅広く、赤ちゃんや外国の方、体の不自由な方もいらっしゃいます。「ゆっくりと簡潔な説明、子供にも分かる言葉を使う」など、話し方の工夫をすることで、気持ちよく楽しんでいただけました。『記憶に残る素敵な日になるように』との想いも込めてです。

## ◆「アテンダント」の仕事で嬉しかったことは

イベントの最後でお客様から送られる溢れんばかりの拍手です。砂丘空間の探索、プロジェクトマッピング…。「並んだ甲斐がありました」「とても綺麗でした」。心のときめきを言葉で表してくれる人の多かったこと。最高の喜びでした。

“鳥取ファン”との嬉しい交流があった一方で、鳥取を知らない人との出会いもあり、ここぞとばかりに知識やお勧めスポットなどをアピールしました。すると、帰る頃には「次の旅行で必ず行きます」と言ってくれました。その言葉と感動が毎日のやりがいでいた。

## ◆鳥取県ゾーンで人気の「鳥取魅力名探偵」



来場者の関心を集めた「鳥取無限砂丘」

「鳥取魅力名探偵」は、鳥取に関する100種類以上のアイテム（名所、名産、行事など）から『知らないかった』を引き出すもので、大きな関心を集めました。結果を見ると

## 世界中に鳥取の魅力を !!



イベントを紹介する木本さん（左から3人目）

「鳥取に住みたい」と思って下さる方が目立ちました。関西パビリオンの中でも「鳥取が一番人気」との声も多かったです。そんな時、「鳥取、捨てたもんじゃないよ!!」と、声を大にして叫びたくなりました。

## ◆砂漠の赤い砂を持ち込んだヨルダンと「砂同盟」を結び話題になりました

鳥取県が注目されるのは、とても嬉しいです。世界中の人に関心を持ってもらえるなんて…。ますます故郷が好きになりました。

## ◆万博での体験は自身の未来にどう繋がりますか

「万博での出会いは、本当に一期一会だ」と、胸を熱くしています。経験したことがないほど大勢の人と関わりました。地域や国籍を超えた人たちとの出会いもあり、交流の輪を広げる自信もつきました。人と人が出会うことで仕事も気持ちも動きます。人に出会おうというエネルギーが個人にあるかどうか。それで人生は大きく変わると思います。その大きなエネルギーを与えてくれた大阪・関西万博「鳥取県ゾーン」にはとても感謝しています。

## 大阪・関西万博に県人会もボランティアスタッフとして協力

大阪・関西万博の関西パビリオン「多目的エリア」で8月20日から25日まで開催された「とっとりフェス」に、大阪鳥取県人会のボランティアスタッフが協力=写真=。鳥取の魅力をアピールしました。

イベントのコンセプトは「お祭り縁日」。梨や銘菓、地酒、乳製品、工芸品などの特産品販売に加え、郷土芸能なども披露され、会場は大勢の人で賑わいました。特に物販は好評で完売が続出。約40種類の商品は、最終日にほとんど売り切れとなる盛況ぶり。「ゲゲゲの鬼太郎」「名探偵コナン」など、“まんが王国”で知られる鳥取だけに、鳥取砂丘の砂で作った「妖怪砂フィギュア」など漫画関連商品は、追加発注しても即完売するほどの人気でした。

フェスの終了後、ボランティアスタッフから「会話を楽

しみながら鳥取の魅力を発信できて良かったです」「同郷の人に出会い、親近感がわきました」「交流の輪が広がりそうです」など、嬉しい声がたくさん届きました。



◆ライフル射撃 有本が初優勝 ライフル射撃の全日本高校選手権（7月28~31日、広島県・つつがライフル射撃場）で、女子ビームピストルの有本雅歩（鳥取敬愛）が、自身初の日本一に輝き、「昨年出場を逃した国スポでも上位を狙います」と次への決意を語りました。

魅力溢れる内容！

# 鳥取学

# 出前講座

多数のご参加を！

5月 父 琢磨が描いた夢 そして引き継いでいくモノ 福山耕治 氏



先々代の県人会長、福山琢磨氏は1934年（昭和9）、東伯郡浅津村（現・湯梨浜町）の農家に生まれた。中学3年生の時、校長に認められて学校新聞を作り始め、活字の仕事に憧れて卒業後、大阪の印刷所を経て新聞社に入る。夜間高校に通い、新聞部に入部。大阪府高校新聞協会の事務局長に選ばれると会社を辞め、協会の仕事と勉学に専念した。1962年（昭和37）、協会の印刷工場を造つて50枚の新聞印刷を始め、その後、社名を「株式会社新聞印刷」に変更して、社業を発展させた。また、新聞編集や自分史作りの講座を通じて文章の書き方を指導し、庶民の戦争体験記「孫たちへの証言」や郷土史「大阪春秋」の発刊を続けた。昨年10月、享年90歳で永眠。会長の三男で事業を引き継いでおられる講師が、活字に生きた父の生涯を語られた。

（株式会社新聞印刷 代表取締役）

6月 あなたの知らない鳥取の食 植田英樹 氏



鳥取市民が一番多く食べているものは？⇒とうふちくわ。県内の雑煮の種類は？⇒4種類で小豆もある。県民の好きな食べ物は？⇒梨・カニ・カレイ。あまり買わない物は？⇒茶・バター・冷凍菓子…等々。講義は綿密な調査に基づく「食の話」が満載だった。講師はまた、こうした鳥取県の食品を全国に広めようと種々のイベントも計画し、実行している。

食を知ることは地域の特色を知ること。ちなみに鳥取県を全国と比べてみると、「高価なものを食べない」「外食しない」「自然のものに手を加えて食べる」といった傾向が強いとのことだった。

（鳥取情報文化研究所 代表）

第42期の紙上紹介

7月 幻の「夜見ヶ浜人」を追跡して 根平雄一郎 氏



「夜見ヶ浜人」とは、1969年（昭和44）12月に境港市外江町で発見され、直良信夫・早稲田大学教授により、後期旧石器時代（2～5万年前）の女性の左下顎骨と鑑定された人骨の化石である。しかし、その鑑定結果は学会で認められず、化石は1972年（昭和47）、直良教授の退官後に行方不明となり、やがて教授も亡くなってしまう。

講師は、2011年（平成23）から化石の追跡を始め、文献調査、大学・研究機関の訪問、講演と人脉作り等を重ねて遂に昨年4月、早大で発見した。今回の講演は、その追跡経緯であり、今年6月にNHKでも放映された。

化石は現在、年代測定の作業が行われており、後期旧石器時代のものであれば日本列島における人類史を解き明かす大発見となることから、その結果が注目されている。

（伯耆文化研究会 会長）

8月 発明王 田熊常吉の歩みと そのDNAを受け継ぐ株式会社タクマ 大石 裕 氏



田熊常吉は1872年（明治5）、鳥取県東伯郡大誠町（現北栄町）に生まれた。材木商や外地での事業失敗を経て40歳の時、汽罐（ボイラ）の発明に取り組み始める。素人同然だったが、海外のボイラ等を勉強し、改良を繰り返して1912年（大正1）、純国産のボイラを完成させた。その性能は海外製品を上回り、常吉は明治・大正時代の十大発明の1人として宮中に表彰されている。1938年（昭和13）、田熊汽罐製造株を創立。「汽罐報國（ボイラの製造を通じて社会や環境に貢献する）」を理念とした。その理念と技術を受け継いだ「株式会社タクマ」は尼崎市に本社を置き、ゴミ処理プラントやバイオマス発電プラントの大手として発展している。

（株式会社タクマ 取締役常務執行役員 コーポレートサービス本部長）

## 「鳥取 自分史サロン」開講 !!

鳥取県出身者、鳥取県にゆかりのある人、鳥取県が大好きな人を対象にした「鳥取 自分史サロン」が2025年12月から開講します。月に一度、同世代と楽しく話をしながら「錆び付いた記憶の扉」を開けるもので、甦った記憶は“記録”として遺されていきます。

講師は、「株式会社 新聞印刷」代表取締役の福山耕治さん。父である関西鳥取県人会元会長・福山琢磨さんが築いた「自分史づくり」を継承し、新たに認知症予防を図る自分史サロンを開発。傾聴・受容・共感を軸とした回想法メソッドを核に自分史の作成を指導します。

初回は12月13日（土）、テーマは「ようこそ、わたし物語へ」。詳細は下記の通りです。

**日 時** 毎月第1土曜日 14:00～15:30 ※2月のみ第2土曜日、1月・5月は休み（全9回）

**会 場** 鳥取県関西本部 交流室 大阪市北区梅田1丁目1-3-2200 大阪駅前第3ビル22階

**定 員** 20名（先着順）

**参 加 費** 1,000円／回（税込） ※1,000円×9回+自分史作成費20,000円=29,000円

**申込締切** 11月15日（土）

**申込方法・問い合わせ先** 〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町5-17 株式会社新聞印刷

電話 06-6768-4651 FAX 06-6768-4354、または、QRコードで



## 双葉会

## 初参加の会員増加で さらに「縛」深まる!!

双葉会総会は、梅雨明けで厳しい暑さが続く中、7月5日（土）に46名が大阪キャッスルホテルに参集して開催されました。

鳥取県関西本部より森本本部長、大阪鳥取県人会の安田会長、郷里から高垣校長をはじめ同窓会本会役員、同窓の鳥商元校長、関東支部若葉会のご出席もいただき、7名の



## 関西地区 同窓会

初参加の会員を迎える一年ぶりの再会に和やかな雰囲気でスタートしました。

高垣・31代校長先生から「鳥商報告」として最近の教育や部活動の成果が披露された後、総会議事に移り令和6年度の行事報告、令和7年度の取組等が報告され、拍手で承認されました。

坂林・29代校長の乾杯の音頭で懇親会がスタート。初参加の会員も和気あいあいに同窓の皆さんと旧交を温め、美味しい料理と地元の「豆腐ちくわ」を頂き、懇親会は最高潮。テーブル対抗のゲーム合戦で懇親会は益々盛り上がり、会話も弾んで交流の場が広がっていました。最後に全員で「校歌」と「故郷」を合唱して来年の再会を誓い、盛会のうちに散会しました。  
(幹事長 佃 春雄 記)

## 鳥取中央育英高校同窓会

## 関西支部総会を開催

同窓会関西支部は、支部の中核を担ってきた昭和30年代卒業生も高齢化により参加者の減少がみられるため、現役50代から60代への呼びかけを強めながら支部活動の盛り上げに向けて取り組んでいます。

一方で、県立高校の募集定員削減や将来的な統廃合の報道もあり、母校および地域では文武両道を基

本とし、  
のびやか  
で自由な  
校風を未来につな  
ぐため様々な支援  
活動ができつつあ  
ります。

令和7年の第56  
回支部総会は6月  
1日(日)、大阪駅  
前のキングオブキ



ングスで開催され、40名が参加しました。山田校長や種子同窓会副会長をはじめ、県人会の安田壽昭会長、鳥取県関西本部の伊井野美雪副本部長のご臨席を賜り、連帯と激励のご挨拶をいただきました。

岡田顧問からは美しいオカリナ演奏が披露され、会場は大盛り上がりとなりました。在校生への激励と支援の活動強化を誓い、別れを惜しみつつ閉会となりました。

(関西支部長 竹本 紀穂 記)

### オフィス創りの総合商社

文具・事務用品・印刷・OA機器・オフィス家具

どんなことでも **NIKKOへ!**



株式会社 日興商会

コクヨ製品取扱全国No.1

本社 〒660-0892 尼崎市東難波町5丁目10番30号 Tel. 06-6487-1401 Fax. 06-6487-1414  
鳥取印刷工場 〒689-1112 鳥取県鳥取市若葉台南7-2-19 Tel. 0857-52-5211 Fax. 0857-52-5214  
ホームページ <https://nikko.bungoclub.co.jp>

### ぶらっと ふるさと鳥取へ…

大阪・新大阪

### 高速・快適「スーパーはくと」

鳥取・倉吉

大阪 ⇄ 鳥取 約2時間30分!

きっぷはJRの主な駅のみどりの窓口や  
みどりの券売機等でお買い求めいただけます。

運賃・料金・時刻表はこちらから

(智頭急行のサイトへ移動します)

**C 智頭急行株式会社**



# 町人会

だより

## 関西いなば会

### 「麒麟のまち」に集う!!

近畿地方の梅雨が明け晴天に恵まれた令和7年6月28日（土）、大阪・中之島フェスティバルタワー地下1階にある鳥取県東部・兵庫県北部のアンテナショップ「麒麟のまち」で、令和7年度「関西いなば会」総会を開催し、18名が集いました。

窪田邦倫会長の「“麒麟のまちで逢いましょう”を合言葉に、今後も長く親交が深められるよう一緒に取り組んでいこう」との力強い挨拶から始まり、予算案や新たに3名の会員を迎えた役員改選案など3議案を審議し、満

### 60名が元気な顔を見せる

第60回の総会を6月22日（日）、大阪キャッスルホテルで開催しました。当初66名の出席予定でしたが、連日の猛暑で外出を控える方が相次いだものの、当日は60名の方が元気なお顔を見せていただきました。総会は窪田会長



の挨拶で始まり、来賓としてご出席いただいた母校の安治教頭、同窓会の池内会



場一致で承認されました。

総会に続く懇親会では、田中伸彦副会長の音頭により山根酒造（鳥取市青谷町）の日本酒「日置桜」で乾杯。倉吉市出身の料理長が鳥取の旬の食材を使って織りなす真心の料理と地酒に舌鼓を打ちながら、同郷の皆さんとの話に花が咲きました。一刻千金、上口敦弘副会長の一丁締めの後、唱歌「ふるさと」（高野辰之作詞、岡野貞一作曲）を全員で合唱して終宴となりました。（鳥取市関西事務所長 奥山 恵介 記）

## 鳥取西高近畿同窓会

## 姫路鳥取県人会

### 夢前川の鮎狩り

7月12日（土）午前11時、晴天の夢前川上流にある「鮎狩り場」で恒例行事のスタートです。ヒンヤリとした清流に足を浸け、俊敏に逃げ回る鮎を捕まえるのに苦戦しますが、凡そ30分後、鮎の捕獲を終えた皆さんの顔に笑みがこぼれました。知恵を出し合った『One Team』を実感した喜びかもしれません。

その後、昨年に続いて参加された来賓の森本・鳥取県関西本部長から挨拶があり、大阪・関西万博に出展した「鳥取無限砂丘」など、鳥取県のトピックスが紹介されました。

長、鳥取県関西本部の森本本部長の祝辞と続き、議案を全て承認した後、大阪鳥取県人会の上口副会長に乾杯の音頭を取っていただき、懇親会がスタートしました。

今回は令和の卒業生を含む初参加の方が16名おられ昭和・平成・令和の輪がつながりました。会場は、久しぶりの再会を喜ぶ姿に加え、世代を超えた交流を喜ぶ声も広がり、若い人たちの協力で行われたビンゴゲームや健康ストレッチ体操は大好評。盛況のうちに時を忘れて親睦を深め合うことができ、最後に参加者全員で校歌を歌い、来年の再会を約束しました。（事務局長 村江 信幸 記）

来賓挨拶から一小時後、恒例の自己紹介となり、ゆかりの市町村や近況、鮎狩り参加の動機などを皆さんに披露すると、一人一人のキャラクターも分かって



きて、参加者の心の距離はさらに近づきました。午後2時、塩焼きを始まりとした鮎のフルコースにお腹が満たされ、「2025年の鮎狩り」は終了。全員で記念撮影をし、今年も楽しいひと時を過ごしました。（会長代行 福井 渉 記）

いつもの料理を絶品の味に

家庭で使う、プロの裏技！

たった3分煮出すだけで、簡単にだしを取れます

株式会社 ヘイセイ

☆ご注文・お問い合わせは☆



0120-545-646



淡路島産の生パスタと神戸ビーフが自慢のお店！  
梅田の地下で隠れ家感のある落ち着いた雰囲気のお店で有名シェフが手がける、和と洋のフュージョン料理をお楽しみください。

ピストロええどこ

〒530-0026 大阪府大阪市北区神田町8-1 梅田辰巳ビル B1 TEL 090-7767-4538

おねがい 鳥取県下各高校の関西地区同窓会や地域の交流会、仲間の集まりなどの情報を寄せください。

◆記入事項：会合名・開催日時と場所・参加者・会合内容や話題・寄稿者名 ◆原稿400字程度・記念の写真添付



# の広場

## ◇ 私と趣味(近況など) ◇

### ◆俳句を学ぶ!!

「頭を使うから認知症予防になるよ」と誘われて、昨年から市のカルチャースクールで俳句を習い始めました。まだ拙い句ですが、自然の美しさと日本語の豊かさを改めて感じています。

野仏の 長き一日 春暮るる  
更衣(ころもがえ) 想ひも悔ひも たたみをり  
秋高し 妻と見送る 子の門出  
風花は 天上の文 手に受けむ  
経写す 一字一字に 年新た

濱田 康男さん(米子市)

## 「若鳥の会」プロジェクト始動 ～鳥取県人の小さな挑戦に期待～

大阪鳥取県人会の若手で構成する「若鳥の会」(西谷友香里・代表)は、鳥取から関西圏を目指す若者をサポートするプロジェクト「YOUNG BIRD PROJECT」を立ち上げました。

鳥取県の人口は53万4,003人(令和7年1月現在・総務省まとめ)。日本で最も人口が少なく、28年連続で減少

しています。地方創生を目的とした様々な取り組みが行われていますが、歯止めがかかりません。

そこで、若鳥の会は「人口減少の一因には鳥取県に対しての『想い』が希薄になっているのでは」と考え、「鳥取県人でよかった」と思ってもらえるプロジェクトを企画しました。鳥取を離れ、関西で



紙面での交流にご参加ください。テーマは自由(近況や思い出など)です。  
「応募はがき」を同封しています。(切手を貼ってお送りください)  
少し長い文になるときは、封書やメールでの投稿も歓迎します。  
宛先・メールアドレスは、8面欄外の「連絡先」を参照ください。

## 夏の甲子園

### 「鳥取城北高」が連続出場

8月に甲子園球場で開催された「第107回全国高校野球選手権」に、鳥取県代表として鳥取城北が2年連続、7度目の出場を果たしました。

8月2日(土)には、鳥取城北の宿舎「宝塚ワシントンホテル」を鳥取県関西本部の伊井野副本部長、鳥取市関西事務所の奥山所長、神戸鳥取県人会の神崎会長が表敬訪問。激励を受けた加藤監督は「初戦突破して、ふるさと鳥取の期待に応えたい」と抱負を語りました。

鳥取城北は、大会2日目(8月6日・水)の第1試合に登場。3年前に完封され、その後、全国優勝した「仙台育英」と対戦。試合は、エース田中投手が4回に6本のヒットを浴びて4点、5回にホームランで1点を献上して降板し、打線も健闘しましたが、129球を投げ12奪三振の好投を見せた仙台育英・吉川投手を崩すことが出来ず5-0で敗退。鳥取城北は11年ぶりの初戦突破を果たせませんでした。

の生活を目指している若者たちに大阪(関西)在住の鳥取県人が、生活に必要なサポートやアドバイスをし、交流を通じて鳥取県人の絆を深めています。

「大阪で一人暮らしをする人の探し」「アルバイトや就職の受け入れ」「受験で来阪する時の宿泊先相談」「新しい仲間を交えての交流会」など、幅広い対応で接し、『鳥取県人でよかった』と思ってくれることを目標にしています。

西谷代表は「鳥取県人が鳥取県人を想うことで、プロジェクトが次の世代に繋がっていくことを期待しています。そして、自分の育った鳥取県が『素敵な県』だということを中心に刻んでいただけたらと思います」と話しています。

#### 【プロジェクトの問い合わせ】

電話:070-1846-1010

E-mail:wakadori@gmail.com



鳥取酒肴  
TOTTORI SAKANA

〒532-0011 大阪市淀川区西中島3丁目18-17 フードマルシェ Wii 1階  
TEL:06-6300-7137(行政書士法人いろは)  
営業時間:17時~22時 定休日:日曜・祝日 Instagram:@tottori\_sakanaya



御堂筋線 西中島南方駅・阪急京都線 南方駅から徒歩1分  
県人会事務局の西谷友香里が女将をやっています

## 大江ノ郷自然牧場

OENOSATO NATURAL FARM

0570-077-505

※通話料は、お客様負担となります。

鳥取県八頭郡八頭町橋本877(駐車場300台)



**ついでに  
TTり県！トラベル ウエルカム**

大阪・関西万博が閉幕を迎えたところで、鳥取県では10月14日からカニと温泉を中心に「とっとリアル・パビリオン」で様々な旬の情報を発信していきます！

県内の対象宿泊施設に宿泊すると抽選で毎月100名様に「鳥取の旬のカニ」が当たる宿泊キャンペーンなどを実施中です。

ぜひ鳥取に足を運んで極上の蟹を味わってください。

**関西エリアで鳥取県を絶賛PRします！**

関西エリアで実施される様々なイベントに出展し、鳥取県の観光PRや県産品の販売などを実施しますので、ぜひお立ち寄りください。

10/19 (日)	ラジオ関西まつり (神戸ハーバーランド)
11/3 (月・祝)	MBSラジオまつり2025 (長居公園)
11/9 (日)	ABCラジオまつり (万博記念公園)
11/15 (土)、 16 (日)	みなみフェス (なんば広場)
1/24 (土)	大阪モノレール 日本酒列車

※予定含む。

## 関西本部だより

**京都女子大学「第78回藤花祭」に出演**

開催日 11月1日 (土)

場 所 京都女子大学 (京都市東山区)

内 容 県産品の販売、鳥取県PRを予定

**「食パラダイス鳥取マルシェ」を開催**

開催日 11月7日 (金)

場 所 大丸芦屋店 1階

西入口前 (芦屋市)

内 容 梨、県産品の販売を予定

**「食パラダイス鳥取県フェア」を開催**

開催日 11月12日 (水) ~18日 (火)

場 所 高島屋堺店 (堺市)

内 容 松葉がに、王秋梨、鯖寿司、鳥取からあげ、打吹公園だんご、ふろしきまんじゅう、とうふちくわ等のPR販売を予定

**「食パラダイス鳥取県フェア」を開催**

開催日 11月26日 (水) ~12月2日 (火)

場 所 高島屋泉北店 (堺市)

内 容 蟹いなり、焼き鳥、だんご、アツ

ブルパイン等のPR販売を予定

**「食パラダイス鳥取県フェア」を開催**

開催日 11月26日 (水) ~29日 (土)

場 所 モリタ屋全6店舗 (高槻市ほか)

内 容 松葉がに、白ねぎ、梨、柿、お米、地酒等のPR販売を予定

**「鳥取県チャレンジコーナー」**

モニター商品販売会を開催

開催日 12月6日 (土)

場 所 いしら商店 (神戸市灘区)

内 容 県産品のPR販売を予定

### 会員動向

現在の会員数272名  
(うち夫婦会員30組)

○新入会員 (敬称略)

- ①尾辻 かな子 (奈良県)
- ②新井 弘 (奈良県人会から入会)
- ③新井 千津代 (奈良県人会から入会)
- ④久米 健次 (奈良県人会から入会)
- ⑤城代 充 (奈良県人会から入会)
- ⑥西谷 和良 (奈良県人会から入会)
- ⑦西原 美鈴 (奈良県人会から入会)
- ⑧福田 智子 (奈良県人会から入会)
- ⑨福田 安子 (奈良県人会から入会)
- ⑩森下 志郎 (奈良県人会から入会)
- ⑪森下 美枝子 (奈良県人会から入会)
- ⑫山邊 英子 (奈良県人会から入会)
- ⑬吉村 茂 (奈良県人会から入会)

○退会 (敬称略)

- ①川口 遼
- ②鈴木 孝夫
- ③森田 宗夫

### 編集後記

「大阪・関西万博」は国内外の多くの人に感動を与え、世代や地域を越えて交流の輪が広がりました。

本号にも関連記事があります。県人会報も万博のように交流の輪が広がる紙面を目指します。情報をお待ちしています。

## ● ゴルフ同好会だより ●

### ゴルフコンペ開催！



(ゴルフ担当幹事 東 巧 記)

## 大阪鳥取県人会 前会長 川島清春氏ご逝去

大阪鳥取県人会 前会長の川島清春氏が令和7年9月22日、逝去されました。享年86歳でした。告別式は9月24日、奈良県橿原市の「ベルコシティホールかしまら」で執り行われ、当会を代表して安田壽昭会長が参列されました。

川島氏は、新型コロナウイルスの感染拡大が国内外で社会問題になり、様々な事業が中止に追い込まれたほか、人々の行動も制約されて生活に大きな影響が現われた令和2年に第5代会長に就任されました。令和6年までの任期中、川島氏は「県人会総会」が書面での開催になるなど、厳しい環境にも関わらず「今こそ関西も県人会を一つに」を目標に精力的に会長職を務められました。この結果、目標の一つである奈良県人会との統合が実現しました。

安田会長は「川島氏は15か月の闘病生活にも関わらず、常に県人会のためにできることを考えておられました。これまでのお力添えに心より感謝申し上げます。安らかにお休み下さい」と故人を偲ばれました。謹んでお悔やみ申し上げます。